

きさらづ市民ネットワーク 市議会議員

田中のりこの議会速報



◆発行 きさらづ市民ネットワーク ◆発行日 2014年9月27日
 ◆住所 木更津市八幡台3-4-8 ◆TEL&FAX 36-0677
 ◆MAIL tanaka-noriko@live.jp ◆HP 田中のりこと市民ネット
 ◆Facebook・ブログは日々更新中

65歳以上の高齢化率を地区ごとでみると

大久保1丁目 **53.9%** 日の出町 **51.3%** 真舟3丁目 **48.2%**

10年後、在宅介護・在宅医療が整備されて、住み慣れた家で暮らし続けられるかしら。



介護認定を受けた認知症の方は2907人→3596人→4437人（H23～25年度）症状の段階別人数も比例。



支えられる側ばかりの住む地域にならないまちに！認知症の理解者がふえ、地域の見守り、支えあいのあるまちに！



認知症サポーターをふやそう

国はH17年度から、認知症のことを正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者である認知症サポーターをふやすようすすめています。

認知症サポーター養成講座では、10人以上の木更津市民対象で開催できます（裏面：参加者募集中）。木更津市では、近年、企業からの申し込みもあり、受講者は増加していますが、人口当たりで比較すると県・全国平均以下。

人口あたりの応援者の比率 H26年6月30日現在	
木更津市	2.61%
君津市	4.50%
袖ヶ浦市	7.83%
富津市	0.76%
千葉県	2.89%
全国	3.76%

支える側と支えられる側

東日本大震災の仮設住宅は、高齢者・障がい者の入居を優先したため、支える側が不足し課題。

木更津市の地域の実情は？

市営住宅の高齢化は60%超え

入居者の多い4つの市営住宅、特に、東清団地のある日の出町でも高齢化が進んでいます。議会で、市の見解は「高齢者を取り巻く対策は、福祉部だけでなく、関係部署と情報や課題を共有して対応したい」また「市営住宅の応募には高齢者が7割を占める現状がある。市営住宅の管理者として入居者の状況により福祉サービスへとつなげたり、長寿命化計

市営住宅	高齢化率	地区
東清団地	60.8%	日の出町
住吉団地	68.5%	高柳2丁目
長須賀団地	61.9%	長須賀
江川団地	49.5%	江川

画に基づき住宅改善を進めるが、民間住宅の借り上げも今後、検討余地はある」としています。

移動サービスは緊急の課題

国は「新地域支援構想」で「住民・市民が考えて育て・創る移動サービスの創出は喫緊の課題。各自治体は、効果的な実施条件の整備が必要」。すでに活動中のNPOライフサポート波岡のノウハウを参考にと要望。

	地区	高齢化率
1.	大久保1丁目	53.9%
2.	日の出町	51.3%
3.	真舟3丁目	48.2%
4.	八幡台2丁目	47.4%
5.	大久保4丁目	45.2%
6.	中尾	44.5%
7.	八幡台1丁目	43.9%
8.	新田3丁目	43.8%
9.	山本七曲	43.8%
10.	大久保2丁目	43.3%

2014.7.1 現在住民基本台帳より



木更津市のお財布事情 H25 年度決算より

15 億 2618 万円⑥を財政調整基金に積み立てた！という、大幅黒字にみえます。でも、実際は 6 億 2113 万円だったのです。

木更津市の一般会計

歳入	445 億 9565 万円	①
歳出	418 億 4451 万円	②
－ 繰越	9 億 2494 万円	③
実質収支	18 億 2618 万円	④

前年度からの繰越金として H26 年度予算へ 3 億円 ⑤
残りは④－⑤15 億 2618 万円 ⑥
財政調整基金に積立

★③は H25 年度にやり残した事業を H26 年度に行うお金など。



みせかけの大幅黒字

さて、歳入①の内訳をみると、財政調整基金(貯金)から 9 億 505 万円を取り崩していました。だから、実際には、

⑥－9 億 505 億円＝6 億 2113 万円を基金に積み立てたのです。

そもそも、決算前の 3 月議会に、剰余を推計し、財政調整基金から取り崩していた分は、戻して決算を迎えたら、市民には明解です。

財政破たんをしないで、健全な財政運営をしているかをしっかりと議会が監査役をと考えます。

中郷小と中郷中の耐震工事

中郷小学校は、柱のゆがみがひどく、耐震工事は中止しました。本来、学校の耐震工事は国からの補助金がありますが、中止のため、これまでにかかった経費 5880 万円は全額木更津市の支出となりました。

今後、耐震工事中止の校舎は撤去費用が必要です。地域住民の説明会では、中郷小中併設校建設の案もあり、0 歳～12 歳までの保護者にアンケートをし、集約中です。

その結果や財政などと照らし合わせ、検討することです。

一方、中郷中学校の現在の体育館は、すでに耐震工事を終え、今後その返済が始まります。

教育環境の整備は、中郷小中の他にも、課題は山積みです。特に、木更津第二中については「現在の住民基本台帳の人口で



みると、生徒数は適正規模の範囲内で推移し、現在の

校舎で対応可能。ただし、敷地が狭く、体育祭や部活動などへの環境は十分でないことは認識。適正規模とは別の面で検討は必要」と市の見解。

今後、さらに児童数の増加があれば、学区編成ならびに移転などの判断に迫られる日は近いのではと田中は思います。

限られた財政で、公共施設の建てかえなど、行財政運営をする司令塔の部署が必要と考えます。

お知らせ

認知症サポーター養成講座

10 月 6 日(月) 10:00～11:30

会費無料

講師:南部地域包括支援センター

会場:市民ネットワーク事務所内
「市民の部屋」(八幡台 3-4-8)

裏話もセット 議会報告会

10 月 21 日(火) 13:30～15:30

紙面では伝えきれない裏話メニュー表もご用意しておきます。

会場:市民ネットワーク事務所内
「市民の部屋」(八幡台 3-4-8)

【あとがき】木更津市の高齢化率は 24%。各地区の実態は？ 今回、2 週間かけて市内全地区の年齢別の人口分布を調べ、9 月議会質問にいたった■滋賀県に視察に行く。在宅医療・在宅介護の先進地米原市の「地域包括ケアセンターいぶき」■議員になり 3 年半。わからない→調べる→伝える。その繰り返し■でもそれが市民にとって市政が身近になるなら、市民自治に一步近づく(のりこ)